

科目名	プログラミングII		英文表記	Programming II		2011年10月28日		
科目コード	2303							
教員名：正木忠勝（前学期）、玉城龍洋（後学期）					修正			
技術職員名：新田保敏								
対象学科／専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
メディア情報工学科			2年	必	履修	4単位	講義	通年
目標 及び 評価方法	目標項目			評価方法及びその割合				
	<p>【前学期】</p> <p>1 文字列とその操作方法の理解し簡単なプログラムが作成できる</p> <p>2 簡単な関数を作成できる</p> <p>3 ポインタとポインタを用いたデータ処理プログラムが作成できる</p> <p>4 構造体を用いた簡単なプログラムが作成できる</p> <p>【後学期】</p> <p>5 マクロとプリプロセッサの役割を理解し、使用することができる</p> <p>6 ビット操作を理解し、プログラムが作成できる</p> <p>7 動的オブジェクトの生成を理解し、プログラムが作成できる</p> <p>8 ファイル操作を理解し、プログラムが作成できる</p>			<p>前学期、後学期それぞれ50%の割合で評価する</p> <p>【前学期】</p> <p>①テスト（50%）</p> <p>4回試験を実施し、それぞれ12.5%の割合で評価する</p> <p>【後学期】</p> <p>①テスト</p> <p>中間試験(25%)，期末試験(25%)で評価する</p>				
高専 目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称			
	○		◎		JABEEプログラム教育目標			
授業概 要、方 針、履修 上の注意	本授業では代表的なプログラミング言語であるC言語の基礎的な知識とプログラミング能力を取得する。 授業はコンピュータを操作しながらの演習形式で進める。 授業では多数の演習問題に取り組むことによって理解を進める							
教科書・ 教材	講義で配布するプリント資料							
授 業 計 画								
回次	授 業 項 目	時間	授 業 内 容				予 習 項 目	
1	ガイダンスとプログラミングIの	2	授業の進め方を説明と演習問題を通したプロ					
2	文字列とscanf	2	文字列について理解し、scanf関数を使った入					
3	文字列走査	2	文字列を走査するプログラムを理解する					
4	演習	2	演習問題を解き、理解を深める					
5	文字列の複写と数値への変換	2	文字列の複写と数値の相互変換方法を理解					
6	演習	2	演習問題を解き、理解を深める					
7	文字列操作関数	2	文字列操作関数を学ぶ					
8	復習	2	これまでの学んだことを復習し、理解を深める					
9	理解度確認試験	2	理解度確認の試験を実施する(評価割合12.5					
10	関数定義	2	関数定義の方法を理解する					
11	戻り値の無い関数と関数プロ	2	voidの使い方と関数プロトタイプ宣言について					
12	演習	2	演習問題を解き、理解を深める					
13	文字列を引数とする関数	2	文字列を引数とする関数について学ぶ					
14	ローカル変数とグローバル変	2	ローカル変数とグローバル変数					
15	演習	2	演習問題を解き、理解を深める					
16	理解度確認試験	2	理解度確認の試験を実施する(評価割合12.5					
17	do文と多次元配列	2	do文の使い方と多次元配列を理解する					
18	アドレス演算子・間接演算子と	2	アドレス演算子とポインタ型について理解する					
19	アドレス演算子・間接演算子と	2	ポインタ型と間接演算子について理解する					
20	ポインタを引数とする関数(1)	2	ポインタを引数とする関数の定義方法を学ぶ					
21	ポインタと配列	2	ポインタと配列の関係性を理解する					
22	ポインタへの演算	2	ポインタへの演算について理解する					
23	復習	2	後学期に学んだことを復習し、理解を深める					
24	理解度確認試験	2	理解度確認の試験を実施する(評価割合12.5					
25	構造体(1)	2	構造体の定義の方法と利用方法を理解する					
26	構造体(2)	2	構造体の定義の方法と利用方法を理解する					
27	構造体ポインタ	2	構造体ポインタについて理解する。					
28	演習(1)	2	演習問題を解き、理解を深める					
29	演習(2)	2	演習問題を解き、理解を深める					
30	演習(3)	2	演習問題を解き、理解を深める					
期末	前期末試験	[1]						

31	ガイダンスと前期の復習	2	授業の進め方を説明と演習問題を通した前期内容の復習をする	
32	マクロとプリプロセッサ(1)	2	マクロとプリプロセッサの利用法について学ぶ	
33	マクロとプリプロセッサ(2)	2	関数型マクロについて学ぶ	
34	マクロとプリプロセッサ(3)	2	条件付きコンパイルについて学ぶ	
35	三項演算子と修飾子	2	三項演算子と変数の修飾子について学ぶ	
36	型変換	2	暗黙の型変換とキャストについて学ぶ	
37	ビット操作(1)	2	ビット操作について学ぶ	
38	ビット操作(2)	2	ビット操作について学ぶ	
39	動的オブジェクトの生成(1)	2	動的割り当てについて学ぶ	
40	動的オブジェクトの生成(2)	2	1次元配列の動的割り当てについて学ぶ	
41	動的オブジェクトの生成(3)	2	2次元配列の動的割り当てについて学ぶ	
42	動的オブジェクトの生成(4)	2	連結リストを作成し、動的割り当ての理解を深	
43	動的オブジェクトの生成(5)	2	連結リストを作成し、動的割り当ての理解を深	
44	ファイル操作(1)	2	ファイル操作について学ぶ	
45	中間試験	2		
46	ファイル操作(2)	2	ファイルへの出力について学ぶ	
47	ファイル操作(3)	2	ファイルからの入力について学ぶ	
48	分割コンパイル(1)	2	分割コンパイルについて学ぶ	
49	分割コンパイル(2)	2	extern修飾子について学ぶ	
50	プログラム応用(1)	2	中規模のプログラムを作成し、分割コンパイルへの理解を深める	
51	プログラム応用(2)	2	中規模のプログラムを作成し、分割コンパイルへの理解を深める	
52	プログラム応用(3)	2	中規模のプログラムを作成し、分割コンパイルへの理解を深める	
53	プログラム応用(4)	2	中規模のプログラムを作成し、分割コンパイルへの理解を深める	
54	fgets関数(1)	2	scanf関数の問題点を理解し、fgets関数の使用法を学ぶ	
55	fgets関数(2)	2	scanf関数の問題点を理解し、fgets関数の使用法を学ぶ	
56	総合演習(1)	2	中規模プログラムを自ら設計し、コーディングを	
57	総合演習(2)	2	中規模プログラムを自ら設計し、コーディングを	
58	総合演習(3)	2	中規模プログラムを自ら設計し、コーディングを	
59	総合演習(4)	2	中規模プログラムを自ら設計し、コーディングを	
60	総合演習(5)	2	中規模プログラムを自ら設計し、コーディングを	
期末	後期末試験	[1]		
学習時間合計		118	実時間	98.33333333
学修単位における自学自習時間の保証 (レポート頻度など) 記入不要→この科目は履修形態のため、この欄の記入は不要				

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(50分=1、100分=2)